

資料①

遊びや場面		砂や水、土や泥に触れて （感触を楽しむ）		知識及び技能の基礎			思考力、判断力、表現力等の基礎				学びに向かう力、人間性等			
接続期までの遊びや学びのプロセス				・ 砂や土、泥などの感触を楽しむ。 ・ 用具を使って水を流して遊ぶ中で、自然の法則に気付いたり、砂や水がもつ特性に気付いたりする。			・ 遊びの中で気付いた砂や土の特性を使って、試行錯誤しながらつくり、表現する喜びを感じる。 ・ 想像力を働かせて、様々なものに見立てる。				・ 全身で感触を楽しみながら遊びの中で、解放感を感じ、情緒が安定する。			
0 歳	・ 戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。 ・ 沐浴を通して、全身でお湯や水に触れる気持ちよさを感じる。			幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
1 歳	・ 水に触れる心地よさを感じる。				◎	○	○			○	◎	◎	○	◎
				遊びや学びのプロセス										
2 歳	・ 自分から関わろうとする。 ・ 水や土、泥の感触を味わう。			・ スコップや手をつかい、山をつくったり、トンネルを掘ったりして楽しむ。 ・ 水の量や使う用具も自分たちで選び、水と素材（砂、土など）との組み合わせや水の流れを楽しむようになる。										
3 歳	・ いろいろな素材に触れる。（指絵の具、小麦粉粘土など） ・ 泥で見立て遊びをするようになる。			環境・援助のポイント										
4 歳	・ 砂や水の冷たさを感じる。 ・ 感触の違いを楽しむようになる。			・ 遊ぶ内容によって用具を選べるように、ペットボトル、バケツ、じょうろ、雨どいや塩ビ管などを十分に用意しておく。 ・ 砂は可塑性があり、うまくいかなくても何度も繰り返し挑戦することができるため、一緒に遊ぶ仲間とできた喜びを感じたり失敗した時に一緒に考えたりしていく。										
5 歳前半	・ 全身で関わる楽しさを感じる。（泥遊びなど）			小学校のスタート カリキュラム		生活科「みずであそぼう」 図画工作科「すなやつちとなかよし」								

